

令和3年度特別支援体制推進事業の成果と課題について

1 特別支援連携協議会

(1) 構成

区 分	所 属 ・ 職 名
学識経験者	淑徳大学教授
医療関係者	小児科医師
保健関係者	四街道市健康こども部健康増進課 課長
福祉関係者	四街道市福祉サービス部障害者支援課 課長
福祉関係者	四街道市健康こども部子育て支援課 課長
保育関係者	四街道市立中央保育所 所長
療育関係者	児童デイサービスくれよん 所長
教育関係者	つばみ幼稚園長
教育関係者	四街道市立四和小学校長
教育関係者	千葉県立四街道特別支援学校長
教育関係者	千葉県立四街道高等学校長
労働関係者	ハローワーク千葉 統括職業指導官
関係機関担当者	いんば中核地域生活支援センター「すけっと」 所長
関係機関担当者	千葉県教育庁北総教育事務所指導室 指導主事
市民	A-の会 代表
市民	クレパスの会 代表
教育委員会関係者	四街道市教育委員会指導課 課長
事務局	四街道市教育委員会指導課 指導主事
事務局	四街道市教育委員会指導課 指導主事

(2) 会議内容

①第1回

- ア 日 時 令和3年7月6日(火) 14:00～16:00
- イ 場 所 四街道市青少年育成センター 2階 オープンスペース
- ウ 内 容 ○各関係機関・団体等における現状と課題について
○四街道市の特別支援教育の現状と今年度の取組について
○その他

②第2回

- ア 意見募集期間 令和4年2月10日(木)～2月24日(木)【書面開催】
- イ 内 容 ○特別支援体制推進事業の成果と課題について

(3) 成果と課題

①成果

- 平成19年から年2回連携協議会を行い、本市の特別支援体制等について意見交換がされていた。教育、保健、福祉、労働の各関係機関や保護者の代表がそれぞれの立場から、子どもたちへの支援の在り方、各関係機関との連携の在り方等について話し合うことができた。

②課題

- ・一人一人の子どもにあった進路を見つけていくことができるよう、それぞれの機関で何ができるかを情報共有することで、よりよい支援につなげていきたい。特に、未就学児童のスムーズな就学の在り方について、さらに体制を整えていきたい。
- ・学習指導要領も改訂され、ICT を活用するなどの研修を行い、新しい観点で人材づくりをしていく必要がある。

2 特別支援教育連絡会議

特別支援連携協議会の作業部会として、平成18年度より特別支援教育連絡会議を組織している。

第1回は、教育委員会から今年度の四街道市の特別支援教育及びそれに係る取組等の説明をした。また、関係各課、特別支援学校、いんば中核地域生活支援センター「すけっと」等の紹介を行い、グループに分かれて、情報交換を行った。第2回は、千葉盲学校で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催とした。千葉盲学校による子ども達の見え方についての理解を深める資料等を送付した。第3回は、千代田公民館で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一堂に会しての開催は難しく、オンラインで実施した。アンケートにより、研修内容の希望が多かった市巡回相談員の山辺浩子先生による「発達検査を基にした支援方法等について」、旭小学校の大川紗代先生、四街道西中学校の羽田光子先生の説明を行った。

- (1) 目的
- ・四街道市内の特別支援教育に関するネットワークを作る。
 - ・特別支援教育に関する研修を深め、コーディネーターのスキルアップをめざす。
- (2) 参加者
- 市内小中学校の特別支援教育コーディネーター、通級指導教室担当者、特別支援学校のコーディネーター、市内保育所(園)・幼稚園職員、健康増進課、子育て支援課、障害者支援課、児童デイサービスくれよん担当者、市内高等学校の担当者、下志津病院臨床心理士等
- (3) 内容
- グループ別情報交換
特別支援教育に関する研修
情報交換、特別支援学校の紹介、市福祉サービス等の紹介
- (4) その他
- ・教職員のニーズに合ったものになるよう、アンケートによる会議内容の検討
- (5) 会議内容について

①第1回

- ア 日時 令和3年6月16日(水) 13:30~16:30
- イ 場所 四街道市立中央小学校
- ウ 参加者 45名

②第2回

- ア 日時 令和3年8月3日(火)【書面開催】

③第3回

ア 日時	令和4年1月19日(水) 14:00～16:30【オンライン開催】
イ 参加者	31名
ウ 内容	・「発達検査を基にした支援方法等について」 ・「特別支援学級、言語障害通級指導教室について」

(6) 成果と課題

①成果

- ・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、でき得る対策を講じて、1回目を実施することができた。それぞれの立場から特別支援教育、スムーズな就学について、情報交換することができ、参加者のアンケートからも有意義な時間であったことの回答が多かった。
- ・1回目のアンケートを活用し、参加者のニーズに合わせて、3回目の研修内容の参考とすることができた。

②課題

- ・第2回連絡会議が書面開催となり、例年、実施している特別支援学校の施設や教材等の参観が実施できなかった。
- ・個別の教育支援計画や「にじいろサポート」の活用の仕方、周知の仕方について、今後、実践的な研修を行っていく必要がある。
- ・各校における情報共有の機会が減ってしまったため、オンラインを含めた実施について検討が必要である。

3 関係課特別支援担当者会議

(1) 会議内容について

①第1回

ア 日時	令和3年5月21日(金) 13:30～14:30
イ 場所	健康増進課内
ウ 参加者	健康増進課、子育て支援課、障害者支援課、指導課
エ 内容	○第1回特別支援教育連絡会議について ○にじいろサポートの活用状況と各課の取組について ○情報交換

②第2回

ア 日時	令和4年1月14日(金) 13:30～14:30
イ 場所	健康増進課内
ウ 参加者	健康増進課、子育て支援課、障害者支援課、指導課
エ 内容	○スムーズな就学に向けての取組について ○にじいろサポートの各課の取組について ○情報交換

(2) 成果と課題

①成果

- ・就学説明会について、関係課から対象家庭への案内の送付や窓口での案内をしていたため、概ね早期に就学相談ができた。
- ・それぞれの課で把握している就学前児については、その都度、情報を共有したり、相談があり次第当課につなげていただいたりして、学校見学、学校体験を実施する等、スムーズな就学相談ができた。

②課題

- ・市全体を通じて、スムーズな就学に向けて、さらに体制を整えていく必要がある。
- ・就学相談説明会について、関係各課で呼びかける方法を工夫し、早い段階から就学相談につなげていく。
- ・関係各課の支援ネットワーク作りが進んでいるが、各課における「にじいろサポート」についての具体的な取組をさらに明確にしていく必要がある。療育手帳再交付等の際にも活用状況の確認を行っていく。

4 専門家チームの活動

(1) 構成

区分	所属・職名
関係機関担当者	千葉県教育庁北総教育事務所指導室 指導主事
学識経験者	放送大学 教授
学校関係者	千葉県立四街道特別支援学校 教諭 (コーディネーター)
学校関係者	千葉県立千葉盲学校 教諭 (コーディネーター)
学校関係者	四街道市立中央小学校 教諭 (コーディネーター)
教育委員会関係者	四街道市巡回相談員
療育関係者学校関係者	児童デイサービスくれよん 児童発達管理責任者

(2) 活動内容

①専門家チーム会議

○第1回

日時 令和3年5月18日(火) 15:00～16:30

○第2回

意見募集期間 令和4年2月28日(月)まで【書面開催】

②学校訪問

○北総教育事務所指導室指導主事による学校訪問を行い、児童生徒の支援方法などを依頼のある学校に対して実施した。

③巡回相談

○四街道市巡回相談員が専門家チーム委員のため、四街道市巡回相談員を中心に行った。

④特別支援教育連絡会議への支援

○第3回特別支援教育連絡会議の中での全体会の研修の講師を市巡回相談員に務めていただいた。また、上記学校関係者に連絡会議の研修内容について、ご助言いただいた。

(3) 成果と課題

①成果

- ・学校へ訪問を行い、支援が必要な児童生徒への支援方法、保護者対応についての助言や支援の仕方を指導助言することができた。
- ・第3回特別支援教育連絡会議において、専門家チーム委員が講師となり、各自の専門的な見地からの講話を行い、各学校の児童生徒への指導に生かせるものであった。

②課題

- ・市巡回相談員による相談のケースが多くなっている。今後、ケースの内容によって、巡回相談員以外の専門家チーム委員による相談や相談機関を上手に選択していけるよう工夫していきたい。
- ・専門家チームにより、対応が難しい児童生徒について学校等の訪問を行い、指導助言を行うことができることを市内学校や幼稚園、保育園等へ、さらに周知を図っていききたい。

5 発達相談

平成20年11月より、指導課で四街道市巡回相談員による発達相談を始めた。

(1) 巡回相談、来所相談による発達相談

①相談の件数 42件（令和3年4月～令和4年1月末日まで）

②対象 市内小学校に在籍している児童生徒及びその保護者
市内小中学校に勤務している教職員
市内在住で令和4年度に就学予定の幼児及びその保護者

③相談内容

○日数 40日

○諸検査の実施 41件（WISC-IV 41件、田中ビネー0件）

○授業参観 1件（小学校通常の学級1件）

○面談（検査報告を除く） 0件

○児童生徒等に係る相談件数 児童生徒11校38件、就学前児4件
（中学校0校0件、小学校11校38件、就学前児4件）

(2) 学校訪問による発達相談

①訪問校数 市内小中学校（11件）

②相談内容

○日数 6日

○内容 授業参観

特別な支援を必要とする児童生徒への支援及び校内体制に関する助言

(3) 成果と課題

①成果

- ・市内小中学校では、巡回相談による指導助言を活かした支援に努めることができた市巡回相談員の果たす役割は大きい。
- ・保護者や教職員の相談窓口としても認識されてきている。
- ・発達検査の依頼が多く、結果を受けて対象児童生徒の実態やニーズの合った支援を多くの学校が行っている。
- ・学校訪問による発達相談では、通常学級における特別な支援を要する児童生徒への支援の在り方についても、助言を行うことができた。

②課題

- ・発達検査の依頼数は年々増加しており、週1回の市巡回相談員では対応が難しくなっている。また、今後、医療と関わるケースが多くあるため、今年度は、保護者の理解を得る医療へのつなげることの重要性を研修内容に入れる等、学校が早期に医療へとつなげられるようにしていきたく。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関も発達検査の件数に限りがあり、検査を実施できない状況であった。専門家チーム委員との連携や学校でも発達検査を実施できる教職員を育成することも引き続き行っていきたく。
- ・発達検査に至るまでのプロセスについては、どの学校でも校内でよく検討してもらう必要がある。
- ・来年度の学校訪問については、学校訪問の対象校や各学校への訪問回数などは現在検討中である。

6 教職員等の研修（市主催研修）

(1) 一般教職員の研修

令和3年8月26日（木）14:00～16:30【書面開催】

テーマ 通常学級における発達障害の児童生徒への指導・支援
講師 北総教育事務所 谷口 貴啓 先生
対象 市内小中学校教職員 特別支援学校教職員
市内幼稚園・保育所（園）教職員
県立特別支援学校教職員 市内高等学校教職員

(2) 特別支援学級担任の研修

令和3年4月9日（金）15:00～15:45 オンライン研修

テーマ 「特別支援学級の運営と教育課程の編制」
講師 四街道市教育委員会指導主事
対象 市内小中学校特別支援学級担任
参加者 17名

(3) 特別支援教育コーディネーター研修

令和3年4月9日（金）15:45～16:30 オンライン研修

テーマ 「特別支援教育コーディネーターの役割」
講師 四街道市教育委員会指導主事
対象 市内小中学校の特別支援教育コーディネーター
参加者 17名

(4) 特別支援教育支援員の研修

令和3年7月20日(火) 14:30～16:00 南部総合福祉センター

テーマ 「特別支援教育支援員の役割と学級担任との連携について」
講師 四街道市立中央小学校 教諭 伊藤 知歩 先生
対象 特別支援教育支援員
参加者 29名

(5) 成果と課題

①成果

- ・通常学級の担任を対象とした研修では、発達障害について理解を深め、具体的な困難さと支援方法についての資料をご用意いただき、適切な支援について考えることができた。
- ・校内支援体制を整えていく上で、重要な役割を担う特別支援教育コーディネーターが参加する研修会を実施することができた。年度初めの研修会の実施で、四街道市の特別支援教育の相談支援体制等についての理解が深められた。
- ・特別支援教育支援員の研修会では、特別支援学級の担任からの立場から講話いただき、特別支援教育支援員の役割と学級担任との連携について学ぶ有意義な場となった。

②課題

- ・特別支援学級の増加により、経験の少ない担任が増えている。実践的な研修を充実させ、質の高い担任を育てていくことが急務である。
- ・通常学級の担任の研修の参加については今後もさらに呼び掛けて、それぞれの児童生徒に適した支援ができる教職員を育てていく必要がある。
- ・よりよい研修会の実施を維持していくため、課題に応じた講師を探し、確保していく必要がある。
- ・校内支援体制の構築、保護者との連携のあり方についてさらに研修を深めていく必要がある。

7 学生支援員を活用した支援

(1) 学生支援員の募集

○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しなかった。

(2) 学生支援員の配置と活用状況

○今年度希望者なし※昨年度、一昨年度ともに0名

(3) 学生支援員の研修等

○例年、夏の特別支援教育研修会の開催案内を配付し、参加可能な学生に研修への参加を呼び掛けているが、昨年度に引き続き、今年度も未実施となった。

(4) 成果と課題

①成果

・なし

②課題

・来年度、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、実施については検討していく。